

今さら聞けないキーワード

学校のICT環境を整備しましょう！

「教育のIT化に向けた環境整備4か年計画」

「教育のIT化に向けた環境整備4か年計画」に記載されている主なキーワードを中心に解説します。



抜粋：学校のICT環境を整備しましょう！ 教育のIT化に向けた環境整備4か年計画(文部科学省)

教育のIT化に向けた環境整備4か年計画	<p>平成26年2月に文部科学省が公表した、平成29年度までの教育の情報化への取り組みに関する計画。第2期教育振興基本計画の目標水準を実現させるために策定された。この計画では、4年間で総額6,712億円の地方財政措置が講じられている。</p>
第2期教育振興基本計画	<p>「自立・協働・創造に向けた一人ひとりの主体的な学びへの変革」を目的として、平成25年に閣議決定された計画。さまざまな分野において数値目標が設定され、その一つとして教育の情報化についても目標が明確に設定されている。</p>
教育の情報化ビジョン	<p>平成23年4月に文部科学省が公表した教育の情報化に関する総合的な推進方策。21世紀を生きる子供たちに求められる力を育む教育を行うには、教育の情報化の推進が重要であるという方針が示されている。</p>
ICT支援員	<p>ICT機器やソフトウェアを利用した授業や校務のサポート要員。文部科学省では、学校ICTの活用促進を図るために、ICT支援員の配置を求めている。学校現場でもICT支援員配置の要望は強い。</p>
タブレット端末	<p>画面を直接触って操作する、平板型の携帯できる情報端末。スレート型やセパレート型、コンバーチブル型があり、児童・生徒の発達段階や利用目的に合わせた選定が望まれる。国は、2020年代の児童・生徒一人1台の情報端末の整備を掲げている。</p>
デジタル教材	<p>教科書や副教材をデータ化し、プロジェクターでの投影やタブレット端末での利用などをできるようにしたもの。授業準備の負担軽減などが見込まれる。デジタル教科書は副教材の扱いだが、文部科学省によって位置付けの検討会議が実施されている。</p>
校務処理の効率化	<p>教育活動の質の改善や、先生方の時間の確保が目的。校務用コンピューターを利用した書類や文書の作成・共有、校務支援システムを利用した通知表や指導要録の作成、CMSを利用した学校ホームページの更新などがある。</p>
無線LAN整備	<p>学校全体に無線LANを整備することで、普通教室からネットワークや教育クラウドへの接続などが行える。文部科学省の調査では、平成26年3月時点で普通教室の無線LAN整備率は21.3%に留まるが、同省は平成29年度の整備率100%を目指している。</p>
総合教育会議	<p>首長と教育長、教育委員が教育行政について広く協議する場。平成27年4月に改正地方教育行政法が施行され、首長は総合教育会議を主宰することとなった。学校教育のICT環境整備計画も、会議で協議、調整すべき事項として示されている。</p>